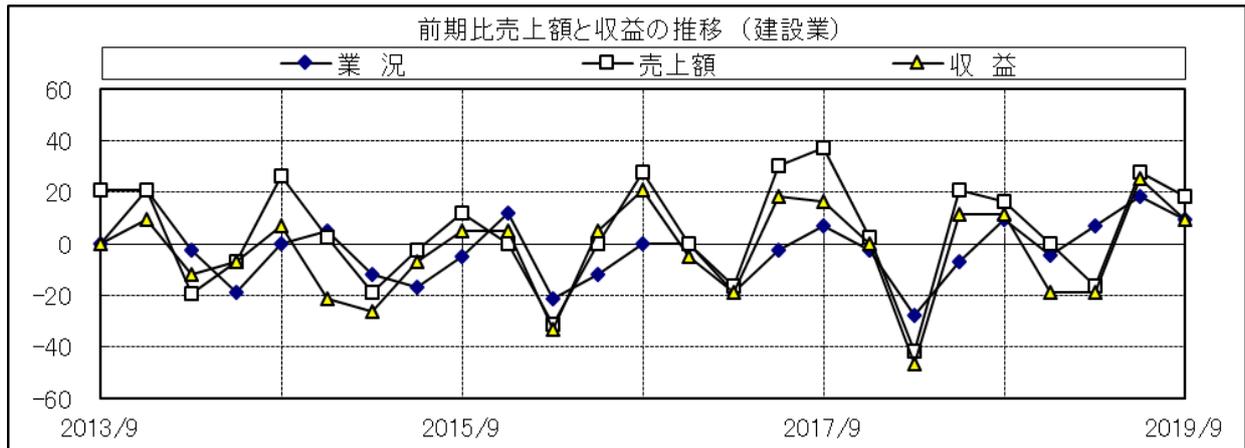


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	7.0	18.6	9.3	6.9
売上額	-16.2	27.9	18.6	-7.0
収 益	-18.6	25.6	9.3	-4.7

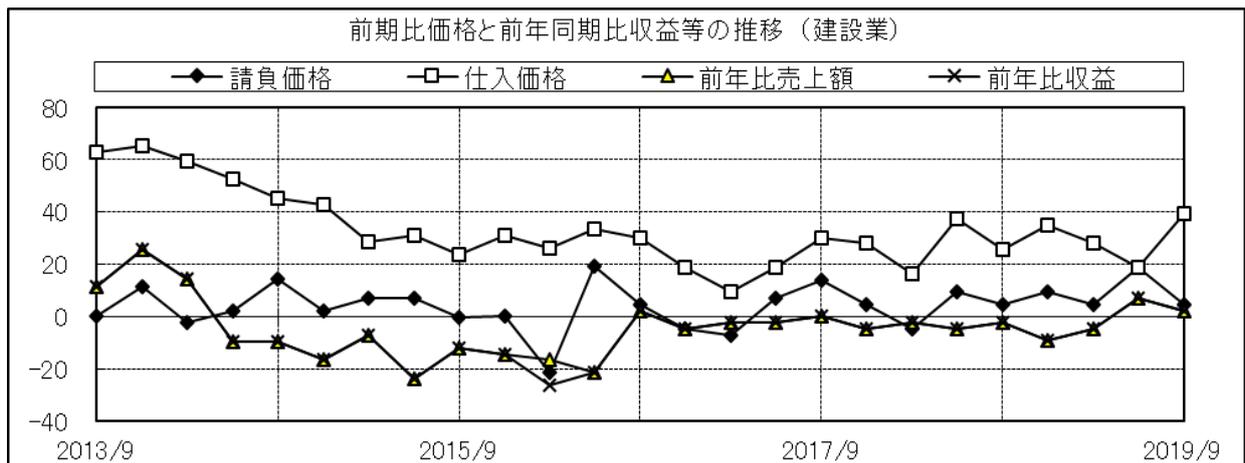
今期の業況判断 D. I. は 9.3 で、前期比 9.3 ポイント下降、前年(9.3)と同水準となった。地区別 D. I. の水準は高い順に、えりもが最も高く、広尾、浦河、様似・静内が同率で続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、18.6 で、前期比 9.3 ポイント下降した。収益判断 D. I. は 9.3 で、前期比 16.3 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
請負価格	4.7	18.6	4.5	2.3
仕入価格	27.9	18.7	39.5	16.3

請負価格判断 D. I. は 4.5 で、前期比 14.1 ポイント下降、前年(4.8)比 0.3 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 39.5 で、前期比 20.8 ポイント上昇、前年(25.6)比 13.9 ポイントの上昇となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-9.3	-2.3	9.3	4.6
人手状況	-23.3	-27.9	-37.2	-32.5

残業時間判断 D. I. は 9.3 と前期比 11.6 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 37.2$ と、前期比 9.3 ポイント下降し、人手不足感がより強まった。

□ 設備投資の動き

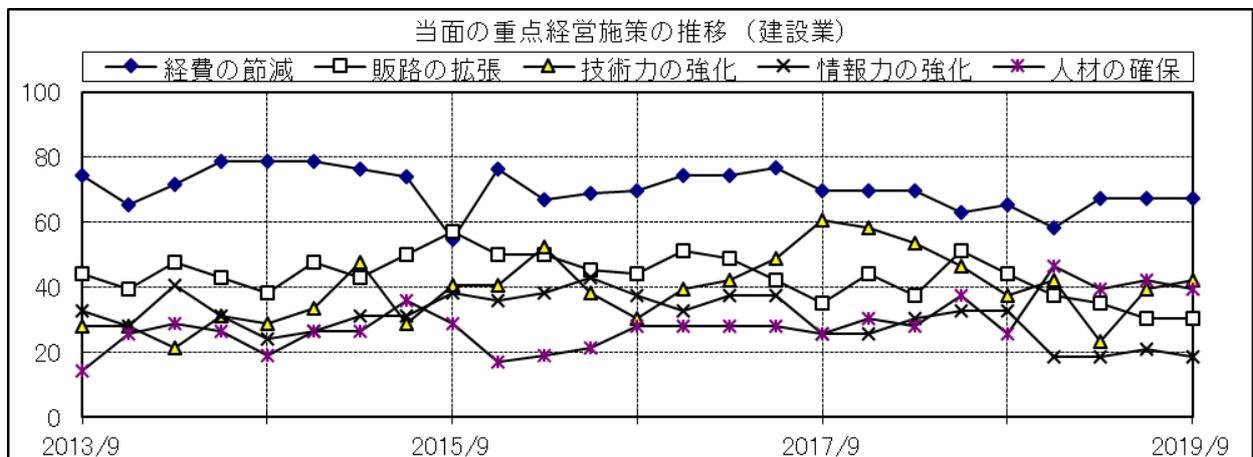
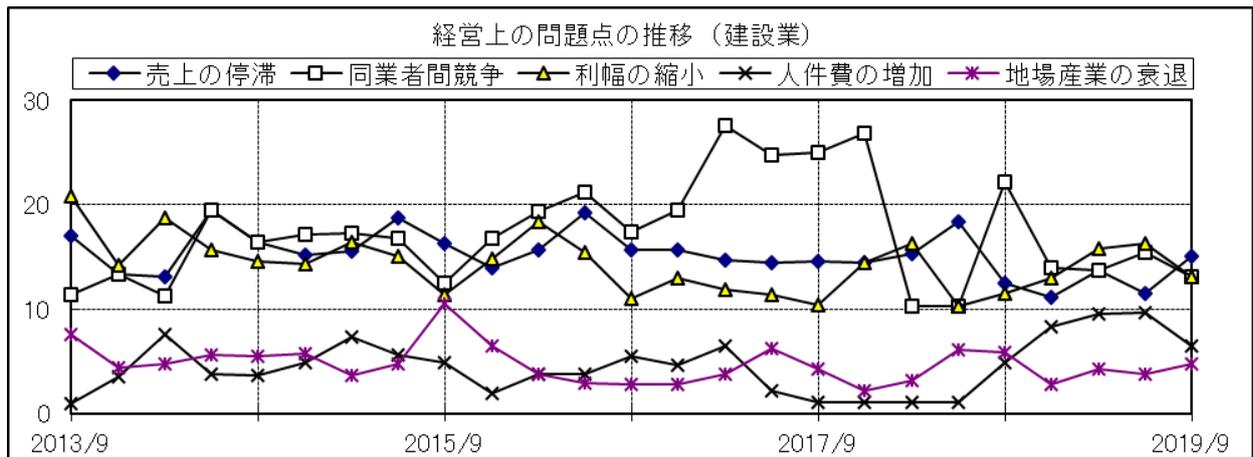
設備投資の充足感を示すD. I. は4.7で、前期(△7.0)比11.7ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は25.6で、前期(18.6)比7.0ポイント上昇した。設備投資は、前期8社に対し、11社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」15.0%が最も多く、「人手不足」14.0%、「同業者競合」・「利幅縮小」13.1%、「材料価格上昇」10.3%、「下請確保難」9.3%、「人件費増加」6.5%、「地場産業衰退」4.7%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が67.4%と最も多く、「技術力強化」41.9%、「人材確保」39.5%、「販路拡大」30.2%、「情報力強化」18.6%、「労働条件改善」7.0%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は6.9と、今期比2.4ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△7.0と、今期比25.6ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△4.7と、今期比14.0ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は2.3と、今期比2.2ポイントの下降を見通している。

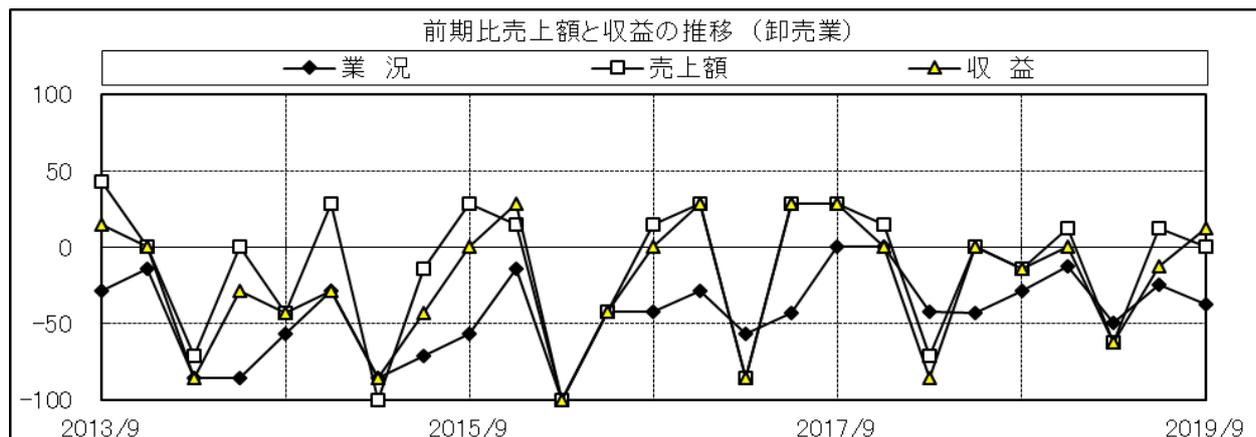
予想仕入価格判断D. I. は16.3と、今期比23.2ポイントの下降を見通している。

卸売業 8企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業況	-50.0	-25.0	-37.5	12.5
売上額	-62.5	12.5	0.0	12.5
収益	-62.5	-12.5	12.5	0.0

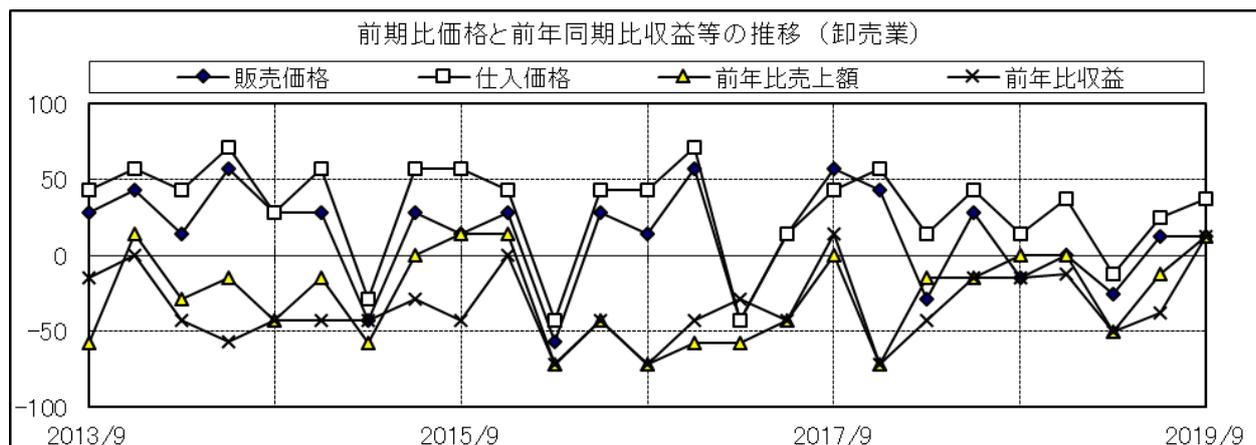
今期の業況判断 D. I. は△37.5 で、前期比 12.5 ポイント下降、前年(△28.6)比 8.9 ポイント下降した。地区別の水準は、浦河・静内地区は横ばい、様似地区は下降となった。売上額判断 D. I. は 0.0 で、前期比 12.5 ポイント下降。収益判断 D. I. は 12.5 で、前期比 25.0 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
販売価格	-25.0	12.5	12.5	50.0
仕入価格	-12.5	25.0	37.5	75.0

販売価格判断 D. I. は 12.5 で、前期と同水準、前年(△14.3)比 26.8 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 37.5 で、前期比 12.5 ポイント上昇、前年(14.3)比 23.2 ポイント上昇した。業種別では、水産業は、販売、仕入価格ともに下降。食品業は、販売、仕入価格ともに上昇している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-12.5	0.0	0.0	0.0
人手状況	-12.5	-25.0	-12.5	-12.5

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、残業時間に変化はなかった。

人手過不足判断 D. I. は△12.5 で前期比 12.5 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

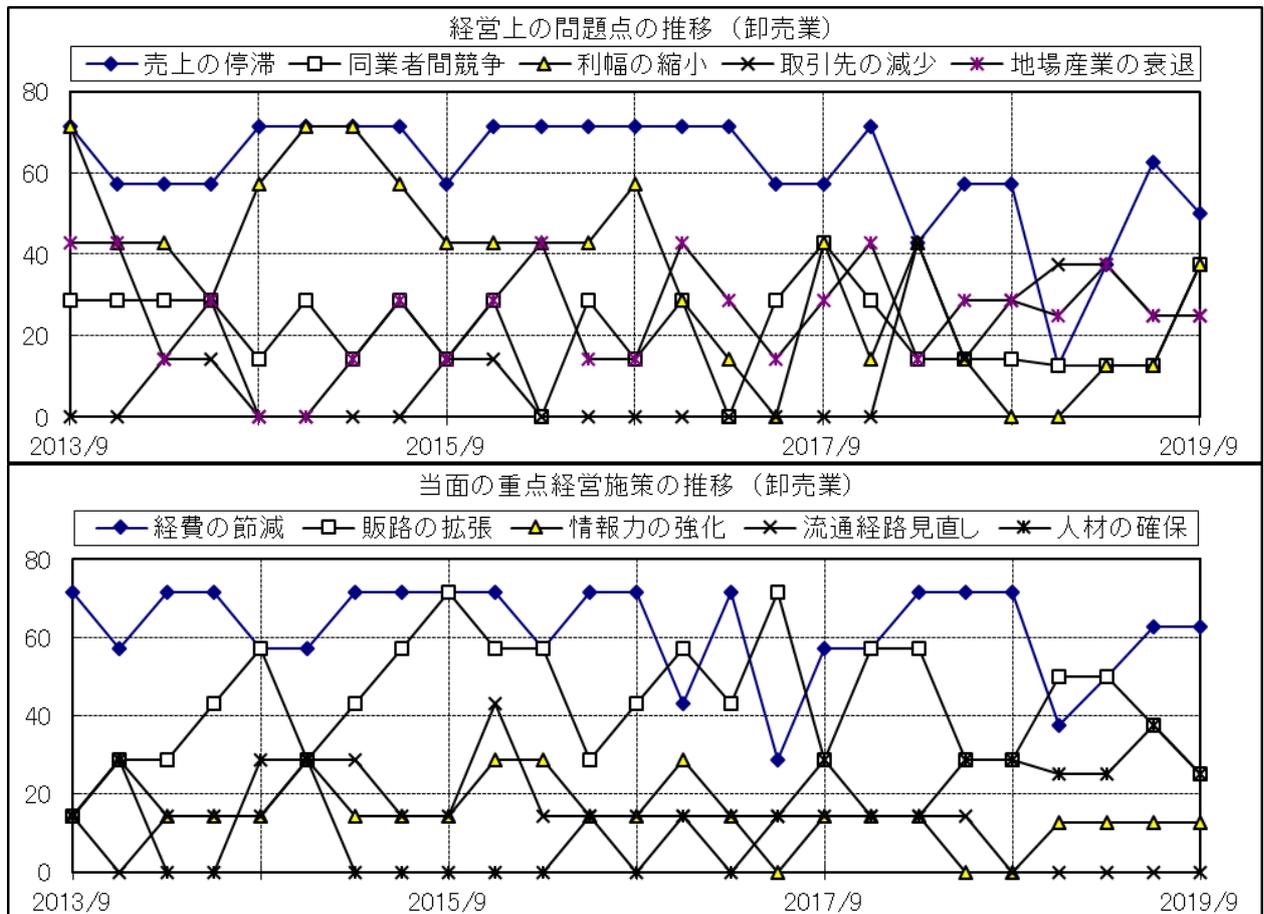
設備投資の充足感を示すD. I. は12.5で、前期(△12.5)比25.0ポイント上昇した。

設備実施企業割合は25.0で、前期(12.5)比12.5ポイント上昇した。設備投資は、前期1社に対し、実施企業は2社。来期の設備投資予定は0社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が50.0%と最も多く、「同業者競争」・「利幅縮小」37.5%、「値上要請」・「取引先減少」・「天候不順」・「地場産業衰退」が25.0%、「人手不足」・「輸入製品競争」・「諸経費増加」・「店舗老朽化」・「代金回収悪化」が12.5%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が62.5%と最も多く、「販路拡大」・「新事業開始」・「人材確保」が25.0%、「情報力強化」・「パート化」・「取引先支援」・「輸入品取扱増」・「不動産有効活用」が12.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は12.5と、今期比50.0ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は12.5と、今期比12.5ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は0.0と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は50.0と、今期比37.5ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は75.0と、今期比37.5ポイントの上昇を見通している。